

## 創エネ神戸 西谷ソーラーシェアリング 見学会 2018年6月6日

6月6日AM、農業と発電事業を両立させている宝塚市の「一般社団法人 西谷ソーラーシェアリング協会」のソーラシェアリングの見学会に、山田、福田、水上、山口、香川、岡本の6名が参加しました。

ソーラシェアリングを既に6基設置して稼働しており、今年度に更に3基の追加設置が予定されています。1基の発電出力は、37.4kW~57KWであり、全量売電をしているそうです。



1号基について、現地で雨の中、一般社団法人 西谷ソーラーシェアリング協会の古家義高代表理事と非営利型株式会社 宝塚すみれ発電の井上保子代表取締役役に、説明をしていただきました。

- ・毎時の発電出力：50.7KW
  - ・太陽光パネル：Qセルズ（独）  
260W のパネル 195 枚を設置
  - ・パワーコンディショナー；  
田淵電子工業製 9.9kW × 5 台  
49.5kW 50kW 未満にしている。  
50kW 以上は変圧器を設置する必要があるため。
  - ・年間総発電量 58321kWh  
(1kW 当たり 1150kWh)
  - ・発電量の遠隔監視は無し。  
4号基のみ「エコめがね」で監視
- 2号基から6号基もほぼ同じ仕様です。



- ・高さ：3m 柱間隔：5m
- ・基礎としてスクリュー杭打ち込み 1.6m
- ・ベースプレートを取り付けて4本のアルミパイプの支柱を組立、更にパイプトラストを組立・その上にパネルを取り付ける。

パネルは固定式。傾斜なし。

- ・施工業者 (株) テルツツオ 宝塚市  
(株) 大辰 (尼崎市)
- ・建設費 6号基の場合 設備費約1300万円  
工事費約300万円 その他 約100万円  
計1700万円
- ・資金調達 4号基以外は設置者は個人で、自己資金で設置。4号基は宝塚すみれ発電。  
今後追加設置する3基は一般社団法人所有で、兵庫県の貸付と地主からの借入で賄うそうです。



これまでに台風などの被害はなかったそうです。

- ・ソーラパネルでの遮光率は33%で、下の畑では無農薬野菜、水稲、サツマイモ、大豆を栽培。  
1号基では無農薬野菜を朝市で販売しているが、味が良いとの評価を得ている。

- ・ソーラシェアリングの施設は、農地に構造物を建設するとされ、パイプが埋められている箇所の一時的転用を市の農業委員会に申請要。  
宝塚でも初めてであったとのこと。

- ・作物の収穫量は周囲の80%以上でなければならない。農業委員会に毎年実績報告要。

実績では減収はほとんどなしとのこと。

- ・一時的転用は3年間適用 その後再度手続きが必要。



パワーコンディショナー5台 外部接続機器



- ・朝日放送テレビ「ちちんぷいぷい」に2年前に取り上げられたことがあるそうです。そのビデオを最初に見せていただいた。

農作物とエネルギーの両方を作ることが出来るソーラシェアリングは新たな農業の形として注目されていると紹介されました。

(写真 山田通裕 岡本紘一)

(作成 岡本紘一)